

Planner for ARCHICAD

ツールの呼び出し方 メニューバーから SCP → SCPランチャー を立ち上げます

メニューバーから SCP → 施工計画ツール / ユーティリティ からも各ツールを起動できます

1	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
× 2	ĝ	0.	r		MМ		Ì		Ħ	μμ		A-A			\bigcirc		Ļ	٩	\$	\$









クレーンの姿勢変更 Hotspotをクリックすると、フックの位置・高さやブーム長さなどの個別の変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で、クレーンの姿勢変更が可能です 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの [移動 👍] で、クレーンの移動が可能です



01_クレーン

オブジェクトの設定

配置したクレーンを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します



-10.00° 10.00°

-30.00° 30.00°

2. 13.5m × 1.1ton

3. 15.6m \times 0.8ton

11_{文字色} Ø

10 作業半径文字の反転 ▼を入れると作業半径の文字が反転します

11 2D画面上の作業半径の文字色設定



【ラフテレーンクレーン・オールテレーンクレーン・小型クレーンの各種設定】



オブジェクトの設定

配置したクレーンを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

【ラフテレーンクレーン・オールテレーンクレーン・小型クレーンの各種設定】



01_クレーン 以



【クローラークレーン・クローラークレーン(タワー)・タワークレーンの各種設定】設定の3頁目のみ、設定項目が変わります

車両・フックの移動

クレーンの車体やフックの移動を行えます

編集したいクレーンを選択して操作してください



- 1 クレーンの車体の位置や高さを変更します
 - 2 クレーンのフックの位置や高さを変更します
 - 3 移動方向の基準変更 √ を入れると3D上の視線方向を基準とした移動・回転が可能です
 - 4 真下の要素に接地します

 接地 をクリックすると真下の要素に接地することができます
 接地対象は[柱][梁][壁][床][屋根][シェル][モルフ][オブジェクト]です

01 クレーン

揚重判定

指定した吊荷の揚重可否判定が行えます



※一括揚重判定は[表現の上書き]を使用しています。 判定結果が表示されない場合は「表現の上書き」を [SCP揚重判定]に切り替えてください。

吊りしろを設定します 揚重判定に使用する吊荷重量をどのように算出するか指定します [ビルディングマテリアル密度×体積] ビルディングマテリアルに設定した密度に部材の体積を乗じた値を吊荷重量とします [指定密度(ton/m)×体積] 指定した密度に部材の体積を乗じた値を吊荷重量とします [重量直接指定] 指定した数値を吊荷重量とします 重量補正をクリックすると柱や梁などの要素単位で重量の補正が可能です。 (重量直接指定の場合は使用不可) 3 フック重量と吊り治具等の重量をそれぞれ指定します ※【個別に判定を行う場合】は4、【一括で揚重判定を行う場合】は5の操作をします 【個別に揚重判定を行う場合】 4 クレーンを選択した状態で[部材を選択して揚重判定]ボタンを押します その後、部材を選択すると揚重判定結果が表示されます Ø 1 揚重に用いるクレーンを選択 部材を選択して揚重判定 ボタンを押す Ø 3 揚重する部材を選択 ิด 揚重判定結果が表示される Ø ※結果は[合格][不合格(重すぎ)] [不合格(遠すぎ)][不合格(高すぎ)] の4種類 4 🛆 不合格 🔎 合格 ? \times ? \times 揚重可能 揚重不可(重すぎ) ·揚重重量 1.0 ton ·揚重重量 3.0 ton 定格総荷重 2.1 ton (46%) 定格総荷重 2.1 ton (139%) ※実際の揚重部材の重量を確認 ※実際の揚重部材の重量を確認 ※ブームと既設部材の干渉を確認 ※ブームと既設部材の干渉を確認 OK OK 【一括揚重判定を行う場合】 5 判定後合格要素の表示カラーを設定し、揚重判定する要素とクレーンのみ表示した状態 で「一括揚重判定]ボタンを押します。 揚重判定をしたい要素とクレーンを表示 ▶:合格 ボタンで揚重可能要素の色を設定 **0** | 一括揚重判定
 ボタンを押す 揚重判定結果が表示される ※指定色以外の色 [オレンジ:不合格(重すぎ)][黄色:判定不可] [元の材質:不合格(遠すぎ)] ら リセットする場合は クリア ボタンを押す チェックを入れると、揚重判定結果が「合格」もしくは「不合格(重すぎ)」のときに吊荷のコピーを作成します ※「不合格(重すぎ)」の場合、赤色の吊荷コピーが作成されます ▼ 👫 クレーン設定 ※[不合格(遠すぎ)]、[不合格(高すぎ)]の場合、吊荷コピーは作成されません 前頁 次頁 吊荷設定 4000.0 吊しろ 吊りしろと吊荷位置は 30W5OAB4 吊荷削除 吊荷GDL名 設定画面で変更できます 吊荷位置調整 0.0 0.0 0.0 0.00° mm

吊荷削除 揚重判定時に作成した吊荷のコピーを削除します

判定時に作成された

判定対象の吊荷

吊荷のコピー

< その他のダイアログ >

吊荷作図

6

01_クレーン

干渉チェック

ブームと既存躯体の干渉チェックが行えます







02 建機·車両



02 建機·車両



【工事用EVの配置】

建機・車両	ッール	×
	工事用EV	SCP
形式	工事用EV(2本構)	\sim
名称	SEL-3000	~
3 +		
2 🕮 💿	ARCHICAD レイヤー▶ ✓ ガ	イド線



- 1 形式・名称で機種を選択します
- 2 配置するレイヤーを選択します
- 3 配置ボタンをクリック後、任意の位置に 建機を配置します
- 4 ポスト高さやEVの位置や向きの調整は、 Hotspotで編集が可能です

【高所作業車の配置】





œ

【その他(カニクレーン)の配置】



【その他(フォークリフト)の配置】





- 1 形式・名称で機種を選択します
- 2 配置するレイヤーを選択します
- 3 配置ボタンをクリック後、任意の位置に 建機を配置します
- ブーム・旋回角度は、Hotspotで 編集が可能です
- 1 形式・名称で機種を選択します
- 2 配置するレイヤーを選択します
- 3 配置ボタンをクリック後、任意の位置に 建機を配置します
- リフトの高さ・角度・旋回は、Hotspotで 編集が可能です





	▶ ユニック車	
② 選択したオブジェクトの設定 ?	× № 建搁設定	8 ブーム・アウトリガーの折りたたみ
SCPボンブ車 選択内容:1編集	可能:1 建築名称 フェック(2ton)	「あり」にするとブーム・アウトリガーが折りたたまれ
 Q1 フレビューと位置 NSA 		
	地面傾斜	τ.9
■1.目217. 1.1FL(現在) ◇ ●	8 走行モード ● なし ○ あり 執跡色 Ø	< ブーム長・作業半径の調整 >
基準レベル: GL ▶ □ 1 300.0 ①	運転席色 一般 → ペン色 Ø	フックの上下にあるHotspotで調整します
	荷台色 ──般 ▶ □ 2 D 着色	▲
	☑ ガイド線	拡大
44X3 V		
▼ № 建磷酸定		
建磯名称 KYOKUTO PH35-11 I		
走行モード ⑧なし ○あり		
運転席色 一般 ▶		
アーム色 一般 ・		プック上部のHotspot: アゴーム た 調整
2D潜色 □		「「「」」、「「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」
ガイド線 🔽		フック下部のHotspot:
Build 20171114 Rev.4		▲ 移動して作業半径を調整します
▶ [] 平衡图と断衡图	▶ 山叼水,椋,地般沿自	
 アレント・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション	▶ 山田町・小山・山盛以及	
	▼ 陸 建機設定	9 Dryn Reolde
	<建機 SR-20 ▶	「「「ケット・オーガの形式選切
		直接の設定
		固住的 政定
	10 /////	11 オーガカバー・シャフトガイドの表示/非表示切替
	バクット・オーガ 800.0	
	サイズ補正 100 96	
	✓ ガイド線 □ 2 D Build 20180515 Rev.1	
		*
	▶ 掘削·解体建機	
		12 バケット角度の調節
		「なし」にするとバケットの先に表示されます
	建機名称前頁次頁	Hotspotで任意の角度に設定が可能です
	(ニプラ)KOMATSU PC300-2P	
	作業半径表示 ④ なし 〇 あり	13 排土ブレードの表示/非表示切替
	12自動バケット角度 ○なし ●あり_	
	傾斜地 ⑧ なし 〇 あり	14 ハケット理知かーノフ・クフノシェルの場合の
	13 排土フレード ● なし ○ あり	計 枻設正
	14 アタッチメント種類 ニブラ① ▶ 軸回転 0.00° ▶	
	サイズ補正 100 % 開く ○なし ⑥あり	
	·	•7
	▶ テレスコ	
	· 因: 建编设定	15 掘削モードの設定
		[あり]にするとアームが垂直になります
	建機名称 前頁 次頁	
	HIACHI ZX135US-6	16 クラムシェルの開閉、方向の設定
	15 掘削モード ● なし ○ あり	
	16 クラムシェル 〇閉 ⑥開 軸回転 0.00°	17 作業範囲の表示/非表示切替
	17作業半径表示 ④ なし ○ あり	

02 建機·車両





編集方法

作成した車両の軌跡や旋回方法を変更することができます



1 軌跡を増やしたいところに頂点を追加します





※作図時に軌跡が赤色に表示された場合 最小回転半径を超えているため 頂点位置を編集してください

2 軌跡の描画頻度を選択します 1、1/2、1/5、1/10

1の場合約500mm間隔で軌跡が表示されます

3 旋回方法の選択

車両軌跡ツールでは、JASO Z 006-92もしくはハンドル角0旋回を選択をします



※JASO Z 006-92は、ハンドル切り始めの位置でハンドルを全て切った状態で進み始めた車両軌跡です ※ハンドル角0旋回は、ハンドル切り始めの位置からハンドルを回しながら進み始めた車両軌跡です

4 位置指定をクリックした後に、車両軌跡上のクリックした位置で 車両形式で選択した車両が表示されます ※カスタム設定された車両の軌跡では車両表示の機能が使用できません

5 表示した車体を前後に動かします

6 表示した車両を非表示にします

ľ



配置した車両軌跡を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します







仮囲い・ゲートオブジェクトの設置基準高さは、オブジェクトの下端です



仮囲い・ゲートの形状変更 H

Hotspotをクリックすると高さや頂点位置などの個別の変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で開始点・終了点の移動が可能です



オブジェクトの設定

配置した仮囲い・ゲートを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

週択したオブジェクトの設定	? ×	▼ 🕾 仮囲い設定	•••••		1	反囲い・ゲートの始点と終点を閉じる
SCPREい ・ ピックピーと位用 ・ ピックピーと位用 ・ ピックピーと位用 ・ ピックピーと位用 ・ ピックピーと位用 ・ ピックピーンと位用 ・ ビックピーンと位用 ・ ビックピーンと位用 ・ ビックピーンと位用 ・ ビックピーンと位用 ・ ビックピーンと位用 ・ ビックピーンと位用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	送行内容:1 編集可能:1	 ※品 仮囲い設定 1 ○ 前にる 2 ○ 20着告 3 ○ ガイド線 4 ペン色 Ø 	5 総証長 <見付面積> 仮囲い(3.0m) <物量> クロスゲート	40.0m 90.0mi ×1	2 2 3 7 4 2 5 1	2回画面上の仮囲い・ゲートの着色 ガイド線の表示切替 2D画面上の仮囲い・ゲートの描画色設け 反囲い・ゲートの情報
 ・ (2) 平希醒と新商団 ・ ① モデル > 目 分類とプロバテイ 	Build 20150916 Rev.9					

Smart CON Planner for ARCHICAD



ツールの呼び出し方 メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「クサビ式足場」のアイコンを選択します



クサビ式足場のアイコンを選択します

作成方法

各項目を設定後、画面上で任意の位置をクリックしてクサビ式足場を配置します

クサビ式足場ツール	×
▲ ▶ 1)新規作成 × SCP	
3]
調整枠目動挿入処理 ●しない ○する(以下で設定)	
出入隅勝負 < <p>● 始端勝 ○ 終端勝 調整枠位置 ○ 始端端</p>	
② ↑ Archicad レイヤー ▶ 2	
□ガイド線 □ 吸着スポット	

1 形式を選択します。形式を選択することによって、作成可能な寸法が連動して選択できます

2 配置する足場のレイヤーを選択します

05_	ク	ビ	式5	Z場

XX

クサビ式足場ツール	×
▲ ▶ 1)新規作成 × SCP	
標準[1800] ~ □連続 □外側 4	足場名称 (作成後に設定)
幅x高xスパン	
1219x1800x1829 ~	
 □両側先行手すり ジャッキ(150mm) □強力つなぎ 5 	
調整枠自動挿入処理	
●しない ○する(以下で設定)	
出入隅勝負 💿 始端勝 🔾 終端勝	
調整枠位置 ○ 始端端 💿 終端端	
2017日日本10月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	
● ^: Archicad レイヤー 🕨	
☑ ガイド線 ☑ 吸着スポット 6	

5 ・両側先行手すり

- OFF:建物側は単管手すりになります
- ON:建物側は先行手すりになります
 - ※)外側は常に先行手すり
- ・ジャッキ(150mm)
 - OFF:最下ユニットをジャッキなしで作図します ON:最下ユニットをジャッキありで作図します
- ・強力つなぎ

OFF: 布板受けを通常つなぎで作図します ON: 布板受けを強力つなぎで作図します

6 [ガイド線] [吸着スポット] の表示/非表示切替

XX

クサビ式足場ツール ×
▲ 1)新規作成 8
標準[1800] ~ 足場名称 (作成後に設定) 連続 外側
幅x高xスパン
1219x1800x1829 ~
□両側先行手すり
✓ ジャッキ(150mm)
□ 強力っなぎ
調整枠自動挿入処理 ③しない 〇する(以下で設定) 出入隅勝負 ④始端勝 〇終端勝 調整枠位置 〇始端端 ⑧終端端 7
② ♪ Archicad レイヤー
☑ ガイド線 ☑ 吸着スポット

7 ·調整枠自動挿入処理

しない:新規作成時のスパンが全て 1 選択したスパンで統一されます

する:始点-終点のマウス左クリック間距離に最も近くなるような調整枠を始点もしくは終点に設置します

・出入隅勝負 「連続」が「ON」で「調整枠自動挿入処理」を「する」に設定する事で機能します

※「外側」との併用はできません

始点勝:始点勝ちになるように自動調整されます

終点勝:終点勝ちになるように自動調整されます

コーナーでの接続部は「調整枠」で自動調整されますが、使用可能な寸法で収まらない前提の為、支柱の共有化処理は行われません





調整枠の寸法の関係で、実際には接続しておらず隙間があり、手すりも端部が宙に浮いた状態になる

・調整枠位置

始点端:調整枠を始点側に設置します 終点端:調整枠を終点側に設置します

8 設定画面の切替

▲ ▶ もしくは ∨ で設定画面の切替が可能です

- < 設定画面の種類 >
- 1) 新規作成 2) 一般部材編集 3) 階段/昇降・開口 4) グリッド編集 5) ブラケット・アサガオ 6) 補助・その他

IXIX



クサビ式足場オブジェクトの設置基準高さは、ジャッキの天端です



クサビ式足場の形状変更 Hotspotをクリックするとクサビ式足場の段数・スパンの個別の変更が可能です

赤のHotspotを左クリック→ペットパレットの [頂点移動 🕂] で高さ方向・水平方向の開始点・終了点の変更が可能です 黒のHotspotを左クリック→ペットパレットの [移動 👍] で足場の移動が可能です



XX

オブジェクトの設定

配置したクサビ式足場を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します



名称				
支柱	一般	•	3 🗹 2700mm支	柱始まり
手すり	一般	•	#****	
布板	一般	•	4 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	
巾木	一般	•	5 べ>色	ø
階段	一般	•	6 2D着色	
アサガオ	一般	•	7 🔽 ガイド線	-
ネット	一般	•	8 🔽 吸着スポット	-
クランプ	一般	•	Build 202	40207 Re

- 1 足場名称の入力
- 2 部材毎の色の切替
- 3 最下段の支柱継手位置を選択
- 4 足場の描画品質の設定
 - ・解像度:「軽量」と「標準」から選択できる ※「軽量」がデフォルトの設定です





- 5 2D画面上の足場の描画色設定
- 6 2D画面上の枠組足場の着色
- 7 ガイド線の表示切替
- 8 吸着スポットの切替



標準モード

軽量モード:体積(厚さ)のないパーツで構成されます 標準モード:体積のあるパーツ(ソリッド)で構成されます

NN

編集方法

作成したクサビ式足場の形式や仕様の変更が可能です

【一般部材編集】配置した足場の部材を変更します









3 対象範囲を指定します

- 個 別 : 1マス単位で指定します
- 範囲:マスを範囲指定します
- 横一行: 選択した足場の横一列が対象になります
- 縦一行:選択した足場の縦一列が対象になります
- 全部:選択した足場全てが対象になります
- 連続: : 対象範囲が「全部」以外の時に併用して利用でき、連続して対象範囲を編集できます
- 4 編集部材を指定します

編集、もしくは削除する部材の種類を指定します 編集したい足場を選択した状態で、部材を指定し 🎤 を左クリックした後、任意の箇所を左クリックします

XX

【階段/昇降・開口】 階段の設置・梁枠/開口の設置

クサビ式足場ツール	×
▲ ▶ 3) 階段/昇降·開口 ∨ SCP	
2 階段 階段枠 ハッチ付き布板(梯子) 設置位置(上がり口)	 梁枠/開口 ③布板直下 ○布板-450mm
 ○ 始端内側 ○ 終端内側 ● なし ○ 始端外側 ○ 終端外側 	開口(削除) □最上部を消す □先行手すりを消す
対象範囲 1 ● 個別 ○ 橫一行 ○全部 ○ 範囲 ○ 縦一列 ○ 階段 縦隔段 □ 連続	通常ユニット □両側先行手すり □強力つなぎ
ガイド線 🗹 吸着スポット	

1 編集範囲を指定します

2 階段・梯子を設置します

部材種類と設置位置にチェックをつけ、部材を設置したい足場を選択します 左をクリックした後、足場の部材を設置したい任意の箇所をクリックします
「なし」を選択し、対象範囲を指定すると階段を削除できます

- ※ 開口手すりと階段手すりは自動入力されます
- ※ 設置位置は「上がり口」の指定になります



任意の箇所を左クリック



梁枠を設置したい位置にチェックをつけ、部材を設置したい足場を選択します
 ■を左クリックした後、梁枠を設置したい任意の箇所を左クリックします
 ※範囲指定した場合、指定箇所が開口となり、一番上の段に梁枠が追加されます



通常階段枠 始点外側



任意の箇所を左クリック

05 クサビ式足場





4 部材を削除し、開口を設けます

消を左クリックした後、部材を削除したい任意の箇所を左クリックします

・最上部を消す:選択範囲の最上列の4段目の布板/巾木を残すか消すかのオプションです

最上部を消す: OFF 先行手すりを消す: OFF



最上部を消す:ON 先行手すりを消す:OFF



・先行手すりを消す:選択範囲の最下列の下2段を残すか削除するかのオプションです

最上部を消す: OFF 先行手すりを消す: OFF



最上部を消す:OFF 先行手すりを消す:ON



5 通常ユニットに戻します

▶ を左クリックした後、部材を変更したい任意の箇所を左クリックします

・両側先行手すり:選択範囲の建物側を先行手すりにするか指定します(外側は常に先行手すり)

・強力 つなぎ: 選択範囲に強力つなぎを設置するか指定します

05_クサビ式足場

XX

【グリッド編集】足場の寸法を変更します



1

足場幅を変更します intの場合、「1219」「914」「610」から選択できます mmの場合、「1200」「900」「602」から選択できます ※足場作成時の単位からは変更できません

「足場全体を変更(リセット)」ボタン 選択した足場の幅を指定値で統一します

「選択行より上もしくは下を変更」ボタン 選択した行よりも上(もしくは下)の全ての行の幅を指定値に変更します 幅が違うときに「揃える」側を指定します



全体が1219mm幅



2段目から上を610mmに縮小(内側揃え)

05_クサビ式足場





足場スパンを変更します 2

intの場合、「1829」「1524」「1219」「1120」「914」「709」「610」「457」「305」「153」から選択できます mmの場合、「1800」「1500」「1200」「900」「602」「400」「300」「200」「150」から選択できます

「足場全体を変更(リセット)」ボタン 選択した足場のスパンを指定値で統一します

「選択列を変更」ボタン

選択した足場のスパンを指定値に変更します



終端列のスパンを1219mmに調整

05 クサビ式足場





- 3 行・列の数を変更します
 - 挿入: クリックした列(もしくは行)の位置に1列(もしくは1行)追加します 挿入された列(もしくは行)はクリックした列(もしくは行)のコピーになります
 - 削除: クリックした列(もしくは行)を削除します クリックした列(もしくは行)が削除され、その終端側(上側)の全部材が始端側(下側)に移動します

4 足場を二つに分割します

縦列分割: クリックした列の始端側で足場を二つに分割します

- 「境界パーツ」オプションで境界パーツ(支柱など)の取り扱いを指定します
 - 始点側: 切断の境界の支柱などは始点側になります(終点側の境界は支柱無し)
 - 終点側: 切断の境界の支柱などは終点側になります(始点側の境界は支柱無し)
 - 両方: 切断の境界の支柱などは始点側、終点側の両方になります
- 横行切断: クリックした行の中間(先行手すり位置)で上下に分割します ※上下分割では「境界パーツ」は発生しません

XX

【ブラケット・アサガオ】 ブラケット・アサガオの設置

クサビ式足場ツール	×
5) ブラケット・アサガオ ~ SCP	1
ブラケット設定 ③ の ○ 内側 ● 外側 ○ 両側 設置 徹去 ● ④ 手すり ③ ② ☑ 両サイド ○ ② ☑ 内側 ○ ① ☑ 辺 八(ン方向 □ ネット 2	アサガオ設定 1800 ∨ □ 始端側コーナー ○終端側コーナー 設置 撤去
対象範囲 ● 個別 ○ 横一行 □ 連続 ○ 範囲	
☑ガイド線 ☑ 吸着スポット	

1 編集範囲を指定します

2 ブラケットの設置・撤去を指定します

配置する方向を「内側」「外側」「両側」から選択します 配置するレベルを①②③④から選択します 手すりの配置位置を選択します

編集したい足場を選択した状態で、「設置」もしくは「撤去」を左クリックした後、任意の箇所を左クリックします



05_クサビ式足場

XX

クサビ式足場ツール	×
▲ ► 5) ブラケット・アサガオ ~ SCP	
ブラケット設定 300 ○内側 ●外側 設置 撤去 ●④ 手すり ③ ジ両サイド ② ☑内側 ① ジスパン方向 □ネット	アサガオ設定 1800 □ 始端側□-ナ- □ 終端側□-ナ- 設置 敵去 3
対象範囲 ● 個別 ○ 横一行 □ 連続 ○ 範囲	
☑ガイド線 ☑ 吸着スポット	

3 アサガオを設置します

※アサガオの設置は「外側」のみです サイズを「2300」「1800」から選択します

設置:選択したユニットに指定したサイズのアサガオを設置します 撤去:選択したユニットのアサガオを撤去します



「1800」サイズ



「2300」サイズ

「始点側コーナー」にチェックをいれて配置すると、選択したユニットの始点側にコーナーアサガオが設置されます 「終点側コーナー」にチェックをいれて配置すると、選択したユニットの終点側にコーナーアサガオが設置されます



始点側コーナー

終点側コーナー

ИN

【補助・その他】墜落の危険箇所に手すりを設置します



1 編集範囲を指定します

2 選択した手すりを、編集範囲内で墜落の危険箇所に自動的に設置します 手すりと一緒に「つま先板」が設置されます ※対象ユニットに「布板」があり、右隣(もしくは左隣)のユニットに「布板」がない場合に手すりが設置されます

なし:設置した手すりを削除します この際、「つま先板」は残ります

手すり×1:単管1本で手すりを設置します 手すり×2:単管2本で手すりを設置します

先行手すりり:「固定部」が支柱の②につくように、2段の先行手すりが設置されます 先行手すり大(3段):「固定部」が支柱の③につくように、3段の先行手すりが設置されます



先行手すり



先行手すり大(3段)
05_クサビ式足場





3 手すり空き長さを変更します

編集対象を指定し、手すり空き長さを「始点(内)側」「終点(外)側」から選択できます



編集対象:終端 空き長さ:始点(内)側610



編集対象 : 終端 空き長さ : 終点(外)側610



編集対象 : 外側 空き長さ : 始点(内)側914



編集対象:外側 空き長さ:終点(外)側914

4 大引き受け・ジャッキの長さを自動で調整します

・大引き受け長さ自動設定:大引き受けの吸着スポット上にオブジェクトがある場合に、その高さまで長さを調整します ※大引き受けの調整長さは50mm~450mmです

・ジャッキ長さ自動調整: 各ジャッキの長さを接地する長さに調整します ※ジャッキの調整長さは50mm~450mmです





5 選択した1ユニットの設定をコピーして、指定の位置に貼り付けます コピー対象は1ユニットです

登録:コピーした状態で登録をクリックすると任意の名称で保存しておくことができます 上書き:コピーした状態で上書きをクリックすると選択している既存の登録設定が上書きできます 削除:登録した設定を削除できます

登録した設定の呼び出し方法

①足場を選択

②登録した設定を表示した状態で 「ペースト」をクリック→足場の貼り付けたい位置をクリック

③足場の貼り付けたい位置をクリック

	⊐ピ–	
	ペースト	
一般ユニッ	4	~
登録	上書	削除
対象範囲		
〇個別	●横一行	○全部
○範囲	○縦一列	□連続



🔼 設定名	?	×
一般ユニット		
OK	Cancel	



6) ブラケット設定 7) 筋違/手摺設定 8) アサガオ 9)挿入/削除 10) 物量集計・他

smart CON

for ARCHICAD



編集方法

作成した枠組足場の形式や仕様の変更が可能です

【形式変更】昇降階段の追加・最上部布板の削除・マグサの追加など



▶ 昇降階段の設置



足場の外側に昇降階段を設置



足場の内側(挿入基点側)に昇降階段を設置

例:昇降階段の設置





※最上段が不要の場合は、昇降 階段設置後に「布板筋違配置」や 「手摺」などに変更します

※上部に不要な布板がある場合は、 7)筋違/手摺設定で非表示にして 変更します

▶ 手摺の表示



例:建枠から手摺に変更





【建枠変更】スパン長の変更・建枠幅の変更など

枠組足場ツール	×	1 配置した枠組足場を選択し、[建	枠幅][建枠高][スパン]を変更しる	हेर्च
 ▲ ▶ 3) 建枠変更 3 3 4 	SCP	2 編集範囲を指定します [建枠幅]など項目下にある[全部] 一番下の[全部]を選択すると、[疑]を選択すると、枠組足場全体の[犭 書枠][建枠高][スパン]全てが変更	建枠幅] が変更されます されます
1 建枠幅 建枠高 ス マ マ マ 910 1700 18		3 をクリック後、変更したい枠々 ※中間部のスパン長さを変更した場合、 位置まで追加されます	をクリックします . 端部の位置が変わるため、スパン数が終	冬了点を超える
2 ○ 横一行 ○ 横一列 ● 縦一列 ○ ○ 全部 ○ 全部 ○ ○ 全部 ○ ○ 全部 □ 図 ガイド線 □ 線) 縦一列) 全部 苗画	 枠組足場を選択し 建枠幅などを変更 建枠幅 建や高 スパン 910 1700 1800 ● 横一行 ○ 横一列 ● 縦一列 ● 全部 ● 全部 	Click	
		< その他のダイアログ >		※建枠幅が異なる場合は、 境界となる段は拡幅枠となります
			ックしてコピーしたい足場の枠をクリッ す	ゆすると、

【オフセット設定】建枠の追加

枠組足場ツール	×
◀ ▶ 4) オフセット設定	SCP
3 左右: 65 前後: 0 1 1 1 2 ●縦一列 ○全部	

- 1 配置した枠組足場を選択し、「左右」「前後」の 移動量(マイナス可)を入力します
- 編集範囲を指定します
- 🖋 をクリック後、変更したい枠をクリックします 3

※クリックした枠の始点側に枠が追加されます ※オフセットを設定しない場合、拡幅枠表現と なります





【足延長/ジャッキ設定】 ジャッキベースの有無・最下部の延長



1 足延長

配置した枠組足場を選択し、延長長さを入力後、 編集範囲(個別・横一行)を指定し、

🖋 をクリック後、伸縮したい枠をクリックします

※初期設定で表示されるジャッキベースの長さは、 0です

2 ジャッキ設定

配置した枠組足場を選択し、ジャッキの有無、 編集範囲(個別・横一行)を指定し、

をクリック後、変更したい枠をクリックします





【ブラケット足場設定】 跳ね出し足場の設定



- 1 ブラケット出幅と取付高の設定 配置した枠組足場を選択し、「ブラケット出幅] [取付高]を入力し、取付け方向を指定します
- 2 編集範囲を指定します



- をクリック後、配置したい枠をクリックします
- ※削除する場合は「ブラケット出幅=0]、 ブラケットの手摺を表示しない場合は [ブラケット出幅=-350]など[マイナス数値]とします
- ブラケット出幅 取付高

4 ブラケットの削除

🗙 をクリック後、削除したいブラケットを配置した枠をクリックします

【筋違/手摺設定】手摺の設置・エンドストッパーの設置など(始点・終点が基準)



- 1 筋違の設置(交差部など片側のみ表示用) 筋違を設置する側(内側・外側)を選択します
- 2 下桟の設置 下桟を設置する側(内側・外側)を選択します
- 3 巾木の設置 巾木を設置する側(内側・外側)を選択します
- 4 手摺の設置 手摺を設置する側(内側・外側)を選択します エンドストッパーは始点側もしくは終点側を選択します
- 5 布板の設置 布板を設置する側(上・下)を選択します
- 6 編集範囲を指定します
- 7 各項目横の set をクリックした場合、 変更したい枠をクリックすると、その項目だけを変更できます
- 8 6 の後に が をクリックした場合、 変更したい枠をクリックすると、まとめて全ての項目を変更できます
- 9 配置した足場からのコピー

を選択後、 をクリックしてコピーしたい足場の枠をクリックすると、 設定が反映されます

10 リセット→チェックボックスをデフォルト状態へ、クリア→全てチェックなしに切り替えられます

【アサガオ】アサガオの設置や設置したパーツの削除

枠組足場ツール	/	×
(8)	アサガオ	SCP
4	○内側 □ 始点側コーナ ○外側 □ 終点側コーナ	- 1
3 ○ 個別 ● 範囲 ○ 横一行 5 ★	バネル角度: 24.50	2

- アサガオを設置する位置を選択します
 パネル角度を設定します
- 3 編集範囲を指定します
 - 🔹 🂉 をクリック後、変更したい枠をクリックします
- 5 アサガオの削除

🗙 をクリック後、削除したいアサガオを配置した枠をクリックします





06 枠組足場

【挿入/削除】追加設置や設置したパーツの削除

枠組足場ツール	×	1 枠組足場の挿入または削除(縦一列)
◀ ▶ 9) 挿入/削除	SCP	2 枠組足場の挿入または削除(横一列)
 1 縦1列挿入 縦1列削除 2 横1行挿入 横1行削除 		3 端部枠の削除(始点・終点側枠) 複数オブジェクトの連結部に使用

【物量集計・他】足場部材の集計、全足場一括描画品質設定











足場の形状変更 Hotspotをクリックすると、段数・スパン数の変更・躯体との離れなどの個別の変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で、足場の形状変更が可能です 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの [移動 다] で、足場の移動が可能です

【NDシステム_セット】



【NDシステム_アルミ軽量アサガオセット】



【NDシステム_コーナー片側調整(セット)】





足場の形状変更 Hotspotをクリックすると、段数・スパン数の変更・躯体との離れなどの個別の変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で、足場の形状変更が可能です 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの [移動 다] で、足場の移動が可能です

【NDシステム_梁枠セット】





足場の設定

配置した仮設材を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

【NDシステム_セットの設定】



重量(kg)

許容荷重

1392.95

12.0kN(1.22t)

07_仮設材

【NDシステム_アルミ軽量アサガオセット】

▼ 🎬 設定				
< 🕨 tyhi	设定-1			۲
カタログ			<< >>	
1 スパン:	1829	Þ		
2	914	Þ		
3 🔽 コーナー (左))			
4 🔽 コーナー (右))			
5 🗹 妻側 (左)				
6 🗸 妻側 (右)				



【NDシステム_コーナー片側調整セット】





【NDシステム_梁枠セット】









各項目を設定後、画面上で任意の位置をクリックして仮設材を配置します

【NDシステム_単品_日建リース工業の配置】



く選択できる部材>※NDシステム_セット、NDシステム_梁枠と組み合わせて使えます

100角パイプ 梁枠 4スパンL材 60×120角鋼管 60色パイプ	つなぎ材 アップロック式鋼製布板(ペロ無) アップロック式鋼製布板 アップロック用コーナーステップ	兼用幅木ND・MN 単管 合板敷板 合板足場板(幅木)	荷取りブラケット 足場ブラケット 上部取付ブレート 鋼製布板		コーナーステップ (セット)
AL長尺幅木コーナー部補助支柱 NDN用アルミノッチ付布板 NDアウトリガー ブラケット 350 伸縮ブレース	アルティメットキャスター アルミタラップ付布板 アルミ合金板(幅木) アルミ合金板 アルミ長尺幅木	合板足場板 固定ベース 垂直梯子 壁つなぎ 大引受ジャッキ	鋼製軽量足場板(幅木) 鋼製軽量足場板 階段開口部手摺 階段幅木 足場階段手摺	1	伸縮ブラケット
伸縮ブラケット ホゾ付 R対応つなぎ材 R対応先行手摺 R対応鋼製布板 アップロック囲っ + フラップ(セット)	アルミ長尺幅木用クランプ クイックステップ クイックステップ手摺 クランプ付伸縮ブラケット コーナーステップ ーーナーフテップCW	強力つなぎ材 強力つなぎ材_1900 後付補剛材 拡幅ブラケット 拡幅ブラケット_1900 支社	ND1800専用階段手摺 階段手摺_1900 アルミ階段枠 アルミ階段枠(SW用) 階段枠SW用)900 階段枠5W-1900	\leq	先行手摺
コーナーステップ(セット) コーナーステップ(セット) セイフティウォーク(セット) Sトップ支柱 S支柱	ン マン	支柱_1900 連結ホゾ 支柱補強材 敷角 杉敷板	階段枠受け 隙間悪ぎ板 隙間隠し板 NKステージ NKバンガー	Ŧ	大引受ジャッキ
梁枠4スパン(セット) 梁枠_1900 鋼製布板(セット) 階段枠(セット) アルミ製妻面用幅木	パイプステップ 伸縮ブラケット C付伸縮ブラケット フリー 先行手すり 先行手摺_1900	杉敷角 杉足場板(幅木) 杉足場板 梁枠 梁渡し		7	強力つなぎ材

【鉄骨関連_日建リース工業の配置】



- 1 形式と名称で種類を選択します
- 2 配置するレイヤーを選択します
- 3 配置ボタンをクリック後、任意の位置に配置します
- 4 連続に 📝 を入れると、連続して配置が可能になります





NKステージ

NKハンガー



各項目を設定後、画面上で任意の位置をクリックして仮設材を配置します

【Iqシステム_単品_タカミヤの配置】



形式と名称で種類を選択します
 配置するレイヤーを選択します
 配置ボタンをクリック後、任意の位置に配置します
 連続に マ を入れると、連続して配置が可能になります

<選択できる部材> ※単品パーツを組み合わせて足場を作成します



作成方法

各項目を設定後、画面上で任意の位置をクリックして仮設材を配置します

【アルバトロスの配置】





<選択できる部材> ※本体セット、梁枠セットと単品パーツを組み合わせて足場を作成します

はね出しブラケット
アルミ階段
オフセット型伸縮手すり
カラー材
ジャッキベース
タラップボード
伸縮ブラケット
伸縮斜材
先端くさひフラケット
光行于9り 田形中坦田伸速手すり
円形足協用性相子95 田形足提用生得手すり
市材
幅木(マルチレボード)
床付き布枠
床付き布枠2
床付き布枠(隙間レス)
強化方づえ
拡幅狭幅兼用ブラケット
支柱
根からみ文柱
采件 芳壬 平(+初)
何里文が栄 明ロガード
開山ガート 階段受け
階段手すり
アルミ朝顔
アルバトロス本体セット
アルバトロス梁枠セット
荷受けフォーム

 γμ/ζεσχάφτως

 γμ/ζεσχάφτως





伸縮ブラケット





先行てすり

オブジェクトの設定 配置した足場を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

【アルバトロスのスパン変更】

アルバトロス本	体セット			選択内容:1	編集可能:
▶ □ ブレビ	ユーと位置				
▼ 🎦 設定					
▲ ▶ 問	隔				
カタログ					<< >>
4	4 914 🕨	0	Þ	610	Þ
0	610 🕨	0	Þ	610	►
0	610	0	Þ	610	►
0	610	0	Þ	610	Þ
0	610	0	Þ	610	₽
0	610	0	\mathbb{P}	610	₽
0	610 🕨	0	Þ	610	₽
0	610	0	Þ	610	Þ
0	610 🕨	0	Þ	610	₽
0	610 🕨	0	Þ	610	Þ
▶ 🔯 平面	国と断面図				
ト 🗊 モデル					
▶ 国分類	プロパティ				



【アルバトロス-アルミ朝顔のスパン変更】

本体セットのスパン変更と同じく、アルミ朝顔のスパンもオブジェクト設定の同ページから変更できます。







各項目を設定後、画面上で任意の位置をクリックして仮設材を配置します

【アルバトロス_杉孝の配置】



<選択できる部材>

	アウトリガー(杉孝) アルミの中木(杉孝) アルミハッチ式踏板 クザビ足場用アルミ階段(杉孝) 伸縮手摺150-310(杉孝) 朝整カラー 60(杉孝) 中空ジャッキベース(杉孝) 伸縮ブラケット(杉孝) 伸縮ジラケット(杉孝) 伸縮斜材 先端くさびブラケット 先行ブレス(杉孝) 曲線用布材(杉孝) 曲線用先行手摺1829	布材(杉孝) 布板(杉孝) 強化方杖(杉孝) 支柱(杉孝) 根からみ支柱(杉孝) 根からみ支柱(杉孝) マペ(杉孝) 内重受梁(杉孝) 内野足場用アルミの階段手摺枠(杉孝) 階段受(杉孝) 階段受(杉孝) 席付き布枠(杉孝) アルミ朝頗(杉孝) 本体セット(杉孝) 荷受けフォーム(杉孝)
--	---	--

- 1 形式と名称で種類を選択します
- 2 配置するレイヤーを選択します
- 3 配置ボタンをクリック後、柱の中心に配置します
- 4 連続に 📝 を入れると、連続して配置が可能になります



07 仮設材



07 仮設材

















配置した仮設材を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します オブジェクトの設定 ▼ 📲 仮設昇降ユニット設定 1 支持ビームの有無と取付位置、サイズを設定します 前頁次頁 Þ 種別 EL-2110 1 支持ビーム ▶ 幅 100mm ▶ 高 200mm ▶ なし 一般 枠色 Þ 階段色 一般 Þ 描画設定 標準 ▶ 一般 Þ 支持鋼材色 屋根 なし Þ Þ 屋根色 一般 ペン色 ø 2 D 着色 2 階段の位置を入れ替えます ☑ ガイド線 Build 20201012 Rev.1 * 次頁をクリックするとページが切り替わります ▼ 🔚 仮設昇降ユニット設定 前頁次頁 2 🗌 階段入替 ☑ 転落防止柵 3 4 解放指定 全解放 全閉鎖 両側閉鎖 ▶ 最上部: 両側閉鎖 ▶ 2: 両側閉鎖 ▶ 3:



3 最上段以外の転落防止柵の表示/非表示を切り替えます





転落防止柵の非表示

- 転落防止柵の表示
- 4 ブレースの表示/非表示を切り替えます 全体での設定と段ごとの設定が可能です

解放指定			全解放	全閉鎖
最上部:	両側閉鎖	▶	✔ 両側閉鎖	
2:	両側閉鎖	▶	前側解放	
3:	両側閉鎖	►	奧側解放	
		,	両側解放	





08 山留め

編集方法

作成した山留めの定義番号や仕様などの変更が可能です

新規配置の際は、[定義番号1(親杭横矢板)]で作成されます。定義番号を変更する場合は、辺ごとに指定が可能です







08_山留め

₩**P**

オブジェクトの設定

配置した山留めを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

 承担にたオブジェクトの設定 7 × 	定義委号を選択し、山留めの種類を指定します	
, SCP山留め 選択内容: 1 編集可能: 1		
- U12VL2-L位函	 ● 磁山器め定義 正義冊号 1(例正) (例花長天橋:350x175x550) 2(இ天板:550x) 3) (地理書:455x175x751) 3) (地理書:455x175x751) 3) (地理書:455x175x751) 3) (地理書:455x175x751) 3) (地理書:455x175x751) 3) (地理:455x150x550x H:355x175x7711) 3) (地理書:450x175x7711) 3) (SHW-450:450x550x H:350x175x7711) 3) (SHW-450:450x550x H:350x175x7711) H留めの仕様を変更します (選択した形式により1頁目 第 1) (福 単 形式 駅标構矢板 ■	• 陽山昭め定義 注意番号 1)(領 形式 原味得失板) ● 「 時代 第 形式 原味得失板) ● 「 日本 1000 (175.0 mm) ● 第55 (175.0 mm) ● 第55 (175.0 mm) ● 第55 (175.0 mm) ● 第50 (175.0 mm) ● 150 (175.0 mm) ●
	親航長 <u>6000.0</u> mm 根入長 <u>1000.0</u> mm 午板庫 50.0 mm	矢板色 一般 ・
▶ [2] 平前国と断面図 ▶ ① モデル	親杭色 一般 → 矢板色 一般 →	
▶ ■ 分類とプロパティ ● ● ABCHICAD Lett- → まっかれ、 OK	↓ 地山辟	► SMW
	 ✓ 小巴丁 主 ✓ 偽山田の定義 	► SHIW ▼ 四日の定義
	定義器号 1)(無) 形式 地中壁 1 前員 次頁 Case名 前孔 450×5500) 天端 0.0 mm ソイル長 1000.0 mm ソイル色 一般 ▶	定義番号 1)(銀) 形式 SMW-450 ■ 前原 次頁 Case名 利孔 450×550 ● 示材 H-350x175x7x11 ● 天端 0.0 mm 芯材長 6000.0 mm ソイル長 1000.0 mm 芯材色 般 ・ ソイル色 般 ・
	※ 次頁 をクリックするとページが切り替わります	
	- 発出山留め定義	1 床付けレベルの設定 「同一」・全ての掘削深さが同一の場合に
	床付け設定 なし 所頁 次頁 文字高 200 ステビ 一般 ・ ベン色 Ø	利用します [個別]:部分ごとに掘削深さが異なる場合に 利用します
	□ 2D巻色 ☑ ガイド線	※どの山留め形式を選択しても[次頁]には[床 付け面積][文字高][文字色][ペン色][2D 着色][ガイド線]が表示されます
	※ 2000 をクリックするとページが切り替わります	
	← 陸 山留め定義 2 Case名 形式 見付面積 綱材長 ソイル長 (m) 前頁 次頁 1 親抗谋失板 30.0 6.0	 2 数量表示 床付け設定をすると、見付け面積が表示されます





作成した切梁・腹起しの本数や角度、端部の調整が可能です

【火打の変更】



【マーク・編集した切梁のコピー】指定した切梁と同じ設定で新規の切梁を作成

切梁・腹起しツール ×	1 配置した切梁・腹起しを選択し、 📌 をクリック後、設定をコピーしたい切梁をクリックします
	切梁・腹起しを選択 Click ・ 使 し を 選択 ・ に に し の で い に し の 選択 ・ し で し で し で し で 通 い し の 通 い し の 通 い し の 通 い し の の の し の の の の の の の の の の の の の
	2 ペーストに 🔽 を入れます
□棚杭長さ統一 ☑ ガイド線	3 作成する切梁の向きを 📄 🛄 から選択し、追加したい位置をクリックします
20 @ ARCHICAD レイヤー ・ 🔅	切梁の向きを選択 Click

【棚杭の追加】



【腹起の頂点追加・非表示】

切梁・腹起しツール 1 2	×
	SCP
□連続	
	「ド線
🥮 💿 🖉 ARCHICAD レイヤー 🔹 🛛	Ö

■ 腹起しの頂点追加 配置した切梁・腹起しを選択し、 をクリック後、頂点を追加したい位置をクリックします 頂点を追加することで形状の修正が可能になります



配置した切梁・腹起しを選択し、 した切梁・腹起しを選択し、 した の非表示が可能です



【ガイド線の表示・非表示切替】



1 ガイド線の表示/非表示切替











ууJ

【火打の本数、角度、端部の設定】



- 1 火打の本数、角度、端部設定画面の展開
 - 🔹 をクリックすると、 🚺 が展開します

2 火打の本数、角度の設定

配置した切梁・腹起を選択した状態で、編集範囲(両方・右・左)、角度(30・45・60)を 指定し、火打本数



3 端部の調整 配置した切梁・腹起しを選択し、端部の勝ち負け EC EC を指定し、変更したい端部 をクリックします

切梁・腹起しを選択 Click 変更 勝ち負けの調整が 可能です

4 腹起し上下の入替

配置した切梁・腹起しを選択し
腹起し上下入替
をクリックすると腹起しの上下が入替ります







56

7

オブジェクトの設定

4

位置変更

配置した切梁・腹起しを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

7 腹起しの火打の位置変更



Hotspotをクリックすると、切梁などの個別の移動が可能です



26441.0 -6182.1




11_構台







構台の面積・支柱脚長さ変更

Hotspotをクリックすると、構台の面積、長さなどの変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で構台の支柱位置などの変更が可能です



オブジェクトの設定

配置した構台を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

 	▼ 🔤 構台設定	1 覆工板の設定
SCP構台 選択内容:1編集可能:1	▶ 前百 次百	
		2 根太の設定
	☑ 表示 2000.1 ▶ 1000.1 ▶ 200.0 ▶ 一般 ▶	3 大引の設定
1.1FL(現在) ジ 基準レベル:GL 国	2 根太 断面陽 断面局さ 色 300.0 300.0 一般 →	
0.0	3 大引 断面幅 断面高さ 色	4 支柱の設定
	300.0 300.0 一般 →	
相対 医	女性 断面幅 断面高さ 色	
▼ 陸 構合設定	300.0 300.0 一般 •	
前頁 次頁 電工板 基本長さ 幅 厚さ 色		
✓ 表示 2000.(▶ 1000.1 ▶ 200.0 ▶ 一般 ▶	▼ ○: 構合設定	5 ブレースの設定
根太 断面幅 断面高さ 色 300.0 300.0 一般 →	前直次百	6 手摺の設定
大引 断面幅 断面高さ 色	5 水平総 断面幅 ブレース 色	6 于指切設定
		7 2D画面上の構台の描画色設定
300.0 300.0 —#£ →	6 于指 //×√ MC L97 于指已 手摺A ✓ 900.0 1000.0 一般 →	
、[2] 亚帝的/地帝的	パイプ経幅木表示幅木色	8 ZD回面上の伸口の有它
 ・ □2 〒 和岡本 前岡岡 > □ モデル 	25.0 一般 🕨	9 ガイド線の表示切替
▶ 副 分類とプロパティ		—





12 手摺



12 手摺



配置した手摺を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します



✓ Z ☑ 巾木等

🖅 💿 🤌 ARCHICAD レイヤー

目線リセット



1 ベースプレートの下端(配置基準点)

2 配置フロアから架台の下端長さの変更

ハイベースの形状変更 Hotspotをクリックすると、架台の下端高さの変更が可能です

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で、架台の下端長さを変更可能です 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの [移動 👍] で、ハイベースの移動が可能です



> 2D

オブジェクトの設定

配置したハイベースを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

△ 選択したオブジェクトの設定	? ×	【SRCスーパー	・ハイベースの各種	設定】		
, SCP_ハイベースNEO	選択内容: 1 編集可能: 1	▼ 🔚 ハイベース			1	ハイベースタイプの設定
- □: ブレビューと位置		▶ 版 カスタム	設定		•	
		+/17/6			2	ハイベース型式の設定
0.0	4.0 × 574.0	<u></u>			-	
配置707: ##		1 ハイベース:	รคตามช่างไ		2	リイベーフタ 称の設定
基準レベル: GL I III			5KCH715		3	バイバー人石朴の設定
0.0		2 八十八一人型式:	44917			피므ㅋㅋㅋㅋㅋㅋ
	<u>(0*(0)</u>	3 ハイベース名称:	SRCH400-C1-42	Þ	4	配直ノロノから架台ト端までの局さ
		4 配置フロアから架台下端	: 1069.0	Þ		
B	- ∞ 0.00° □ ⊠ ⊠	5 加公 即の大さ	50.0		5	架台の脚の太さ
▼ 階 ハイペース		 末百歳の人C. 	50.0			
↓ 前 カスタム設定	•	6 表示:	全表示	Þ	6	表示切替
カタログ		7 ハイベースのマテリアル:	🗌 金属 - クロム 01	•		
ハイペース: 銅管型式: 角形銅管	Þ				7	材質の設定
ハイペースタイプ: Gタイプ	Þ	40				
ハイベース型式: 4本タイプ ハイベース名称: GB350-4-42		【ハイベースNE	EOの各種設定】			
記事コロマれに想会下が年・1749 0		▼ ⊠= 1/4/×−7				
 1240.0 架台 脚の太さ: 50.0 						
表示: 全表示		🔹 🕨 🖣 ክን እንያፈ	設定		8	鋼管刑式の設定
ハイハースのマテリアル: □ 金属 - クロム 01	,	カタログ				
		ハイベース:				
, L2 平岡内と町岡内) □ モデル		8 鋼管型式:	角形鋼管	•		
・ 国 分類とプロパティ		ハイベースタイプ:	Gタイプ	•		
		ハイベース型式:	4本タイプ	•		
Archicad レイヤー	キャンセル OK	ハイベース名称:	GB350-4-42	•		
		記署フロマから初公下端	1248.0			
		22台 脚の大さ	50.0			
		表示:	2表示			
		ハイベースのマテリアル・	11000 - 1100 -	•		
		2D着色				
		X	マクレックオスとページが打り	あわります		
				61,008 9		
		▼ 🎬 ハイベース				
		▲ ▶ 👜 全てのパラ	メータ	•		
		会社名	ヤッカシア株式会社		9	円周分割数の設定
		品名	ハイベースNEO			分割数を減らすとデータが軽くなります
		品番	GB350-4-42			
		URL	https://www.senqcia	a.co.jp/products		
		日周分割数	32			
		オフジェクト数	1 全屋 - 加人 01			
		47-17-17月	五嶋 - ハロひ 01			







smartCON Planner for Archicad28 2025/06/12

して実行できます

※余長部分ではなく主筋根本をクリックします







オブジェクトの設定

配置した柱配筋オブジェクトを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します





作成方法

【円柱配筋】各項目を設定後、柱を選択して配置します

【円柱配筋の設定】

柱梁配筋ツール ×	1 主筋径を選択します
 ▲ ▶ 円柱配筋 1 主筋径 2 主筋本数 4 注意例 12 1 	 2 主筋本数と寄せ筋を設定します リンクボタンを有効にすると柱頭側と柱脚側の本数 をそろえることができます リンクON リンクOFF
柱脚側 12 🦉	3 かぶり厚さを設定します
3 かぶり 40.0 mm	4 柱頭・柱脚から最初のフープまでのかぶり厚さを 設定します
4 ⑥柱頭かぶり 0.0 mm ⑦柱脚かぶり 0.0 mm	5 フープの径とピッチを設定します リンクボタンでピッチをそろえることができます [高さ]で上部と下部のパネルゾーンの範囲を
5 フープ径 □ 螺旋フーブ ビッチ(mm) 高さ(mm)	指定できます
①上部パネルゾーンD13 (200.0) 1000.0 (6)	[螺旋フーフ]に↓」を入れると螺旋フーフを作成できます(配置後の変更けできません)
②一般(Ho) D13 ∨ @ 200.0 ↓ ① ↓ ↓	
③下部パネルゾーンD13 ~ @ 200.0 」 1000.0	6 主筋柱頭柱脚
6 主筋柱頭柱脚 余長 折曲げ内法直径(D) ②	柱頭ノックと 柱脚の 曲げ 定着の 設定 かで きます d ・ 鉄筋の 呼び 名
柱頭フック なし ~ 0 ×d	[上部・下部オフセット]で投影定着長さを設定します
柱脚折曲げ定着 すべて ∨ 6 ×d 0 ×d ③	7 表示フロアを設定します
④上部オフセット 0.0 mm++	
⑤下部オフセット 0.0 mm 5 100 0.0 mm 5 100 0.0 mm 5 100 0.0 000 0.0	8 配置するレイヤーを設定します
9	9 配筋を作成する円柱を選択し(複数選択可)
7 表示フロア 配置フロア / ++	+ をクリックして配筋オブジェクトを作成します
8 🥮 👁 ARCHICAD レイヤー 🔸	
	選択中の円柱への配筋を開始しますか?
	OK Cancel
	10 柱梁配筋ツールパレットの開閉
	11 設定項目の登録 登録した内容はプルダウンメニューから選択でき、選 択後設定を変更し[上書]をクリックすると変更が可 能です

14_柱梁配筋



円柱配筋の編集

配置した円柱配筋オブジェクトを選択し、柱梁配筋ツールパレットで各種設定を変更します

Γ	柱梁配筋ツ−ル ×	1 ページ切替え
1	■ P柱配筋編集 SCP	2 編集モードの切替え
E	2 ☑ 編集モード 符号:C1 断面寸法:D 1000	[円柱配筋編集]ページでの変更は円柱配筋オノ ジェクトごとに行います(複数選択不可)
3	土筋(柱頭側):12-D25 土筋(柱脚側):12-D25	編集するオブジェクトを選択し↓を入れて各種設
	上部パネルゾーン D13 ~ @ 200.0 1000.0 0.0	上を変更しまり
	一般(Ho) D13 ~ @ 200.0	3 フープの径やピッチの設定
	下部パネルゾーン D13 ~ @ 200.0 1000.0 0.0	[高さ]:上部・下部パネルゾーンの範囲設定
4	主筋オフセットー括設定(mm) 余長(mm) 呼び経倍数 5	[螺旋フープ]:螺旋フープの切替
	柱頭側 0.0 設定 3/5.0 ← 0 ×d 設定	4 主筋オフセットの一括設定
6		柱頭/柱脚の数値を入力し[設定]をクリックします
Ĭ	柱頭フック なし ✓ 50.0 ← 0 ×d 2 ×d 一括設定	5 柱頭と柱脚の鉄筋位置がずれている場合に
	柱脚折曲げ定着 なし ~ 150.0 ← 0 ×d 2 ×d 一括設定	柱頭側および柱脚側の鉄筋の長さを変更できます
7	余長個別設定(柱頭・柱脚自動判別 個別設定 個別削除 □連続	
	編集断面指定 🛛 長さ	
	⊻かふり ▽フック・折曲げ定着	
	「日本頭フック その他 ロューズまテ	
		6 土肋端部の一括設定 柱頭フック/柱脚の曲げ定着の対象を選択し、[余
	設定 全クリア	長]と[折曲げ内法直径]を設定して[一括設定]を
		7777049
	<i>標準</i> ◎ @ ARCHICAD レイヤー ・	7 余長の個別設定
		して、このでは、「「「「」」」でクリックし、変更 する主筋をクリックします
		[連続]に 🔽 を入れると、余長の個別変更を連続

※円柱配筋のその他の編集については[柱配筋の編集設定](3、4ページ)を参照ください

して実行できます

※余長部分ではなく主筋根本をクリックします



作成方法

【梁配筋】 各項目を設定後、梁を選択して配置します





作成基準

梁配筋の [始点] [終点]について

梁配筋の始点・終点は梁オブジェクト作成時の入力方向によって決まります 作成した梁配筋の始点側には始点マークの〇が表示されます





能です





5 主筋端部の長さの設定

変更する端部を有効にし、変更項目の数値を入力して [設定] もしくは [一括設定] をクリックします 余長を個別で変更する場合は [余長設定] に長さを入力し [個別設定] を選択した後に変更する主筋の根本をクリックします [連続] に ✓ を入れると余長の個別変更を連続して実行できます

6 定着全長固定モード 有効にするとすべての主筋の定着全長を同時に変更できます
 主筋移動時連動 有効にすると始点、中央、終点などの主筋を同時に移動できます
 端部領域範囲編集 有効にすると端部の領域にHotspotが表示され範囲を変更できます
 段毎に長さを揃える 個別に設定した定着長さを同じ長さに変更できます
 スタラップ表示 スタラップ吸着 スタラップいら離れた最外端の主筋を、スタラップに接するよう移動します

- 7 ハンチ起点の定着長さの設定
- 8 水平曲げの形式設定 曲げ方の形式を[主筋間隔を維持][梁端で曲げる][曲げ先に垂直位置]から選択できます
- 9 主筋の色を個別に変更します色を指定し[設定]を選択して変更する主筋をクリックします







梁配筋の編集設定

梁配筋は編集する要素が多いため必要な要素のみ表示して編集します

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で、主筋などの形状変更が可能です 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの [移動 👍] で、配筋の移動が可能です





オブジェクトの設定

配置した梁配筋オブジェクトを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

	_			1
▼ 警告 梁配肠設別	Ē			
<構成情報>			前頁次頁	
符号:G1 梁寸法(b×D×l 主筋径:D25	L):500×700×220 スタラップ径:D13	00 3 腹筋径:	: D16	
主筋本数		~~ ~~~~		
始点側 上1段: 5	中央部 終点側 5 5	段間隔	腹筋本数: 1x2 かどり	
上2段: 2	0 1	> 28 > 28	下: 40	
上3段: 0 上4段: 0	0 0	> 28	右:40	
上5段: 0	0 0	/ 20	左: 40	
下5段: 0 下4段: 0	0 0	> 28	スタラップピッチ	
下3段: 0	0 0	> 28 > 28	中央部:200	
下2段: 0 下1段: 5	5 5	> 28	終点側:200	
*	次百 をクリックする。	とページが切り	持わります	I
~				
▼ 🔚 梁配筋設定				1 主筋などの材質
			***	主筋(始点、「
1 ^t	晳(色)	ペン(色)	- 則員 次員	腹筋、それぞれ
始点主筋 一般	•	ø 2	□ 平面図着色 3	※変更しても輔
中央主筋 一般	•		平面図で個別ペン有効	図と断面図]の[
終点主筋 一般	•		√ ガイド線	をOFFにしてくた
角主筋 一般	•		──	2 主筋などのペン
7.25ップ		ø		主筋(始点、「
		~		腹筋、それぞれ
腹肋 一般 淡(亚西回井)その))		ø		※主筋(始点
采(十回因共通(ソ)		Ø		3 平面図の着色
				ガイド線の表示。
				解像度の変更
				○ 小 御 反 の 友 文 ※ 数 字 が 小 さ い
				へタイナリアとい

 主筋などの材質を変更します 主筋(始点、中央、終点、角)、スタラップ 腹筋、それぞれ変更できます ※変更しても輪郭の色が変わらない場合は[平面 図と断面図]の[シンボル]/[オブジェクトペンの上書き] をOFFにしてください
 主筋などのペン設定を変更します 主筋(始点、中央、終点、角)、スタラップ 腹筋、それぞれ変更できます ※主筋(始点、中央、終点、角)は共通設定です
 平面図の着色 ガイド線の表示・非表示 解像度の変更 ※数字が小さいほどデータが軽くなります

始点マークの表示・非表示



smartCON Planner for Archicad28 2025/06/12







掘削オブジェクトの作成

【根切モデルの作成】

手順1)

手順2)







手順3) 敷地をモルフ化 敷地を選択し右クリック[選択内容をモルフに変換]をクリックします

> ※ 根切りモデルをモルフ化することで、3D上で根切り底・法面の設定、2D上で法面形状の表示などが 可能となります

操作を選択:上方向へ減算

実行

ターゲット:敷地

- ※ 一度モルフ化すると掘削前の操作には戻せませんのでご注意ください
- < 根切りモデルの完成 >



【掘削数量モデルの作成】

手順3)

- 手順1) 掘削オブジェクトの作成と敷地のコピー 掘削オブジェクトを作成後、敷地をコピーして2つにし、敷地①、敷地②とします。
- 手順2) 敷地①のソリッド編集とモルフ化 [敷地①]をターゲット、[掘削オブジェクト]をオペレータとし、 [上方向へ減算]し根切モデルを作成後モルフ化します

敷地①のソリッド編集



敷地②のソリッド編集

[敷地②]をターゲット、[敷地①]をオペレータとし[減算]します ターゲット:敷地② オペレーター:敷地① 操作を選択:減算

< 掘削数量モデルの完成 >

敷地②のソリッド編集



※敷地が傾斜してる場合にも有効です ※体積表示ツールで体積を表示すると 数量を表示することが可能です

掘削数量305.71m

活用例

ターゲットとして追加

オペレータとして追加

実行

オペレータ:0

ターゲット:0

 \times

17

 $\overline{\mathscr{A}}$

▶ 🖅 減算

上方向へ減算

✓ 下方向へ減算

▲ 交差部

🗁 加算

4

4

ソリッド編集

新規編集

27

操作を選択:

🛃 減算

新規のターゲット材質:

○オペレータから継承

● 属性を使用

編集管理







対象はゾーンやモルフと重なった範囲のみ ※要素は切断されません





編集方法

配置した測点座標オブジェクトの表示内容の変更や座標のエクスポートなどが可能です



[原点]	x(Global)	y(Global)	z(Global)					guid				
原点01	1937.4	3682.1	300					EADC0862	2-DE1B-49	1D-ADE8-	6194A2E56	EA0
[測点]	x(Global)	y(Global)	z(Global)	(Local)	y(Local)	z(Local)	参照原点	guid				
test1	9069.9	-2000	3000	7132.5	-4921.6	0	原点01	02405BCB	-5F3D-4B	D4-B515-8	5DCE19B2	C70
test2	6359	3682.1	300	4421.6	0	0	原点01	845DB636	-1456-4BC	04-A868-40	C625DAF64	16C

設置基準

座標オブジェクトの設置基準は、配置時にクリックした位置です

配置フロアは、2Dで作成した場合は[当該フロア]に、3Dで作成した場合は[1F(フロア番号=1)]になります

< 原点の表示例 >

< 測点座標の表示例 >





クリックすると、3D上で現在の視点に合わせて表示が回転します

<u>※寸法オブジェクトは、単独のオブジェクトです。作成時に参照した部材を修正しても、追従しません。</u>



Hotspotをクリックすると、寸法線の長さや引き出し線の位置などの変更が可能です

4 寸法線の回転

3 引出し線の位置変更(3D)



オブジェクトの設定 配置した3D寸法線を選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します



Smart(C(O)) Planner







オブジェクト移動のアイコンを選択します



接地対象は[柱][梁][壁][床][屋根][シェル][モルフ][オブジェクト]です 0.1m*0.1m以上の開口がある場合は接地できない場合があります



SMARTECON Planner for ARCHIGAD

ツールの呼び出し方 メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「オブジェクト表示設定」のアイコンを選択します



オブジェクト表示設定のアイコンを選択します

作成方法

配置された全てのSCPオブジェクトの表示設定を変更できます

オブジェクト表示設定ツール				
1 ガイド線	ON	OFF	SCP	
<mark>2</mark> 平面図で着色	ON	OFF		
3 オブジェクトペン使用	ON	OFF		



3 SCPオブジェクトのオブジェクトペンのON/OFFを設定します <ON> <OFF>